

平成 19 年 12 月 1 日

今年も残りわずかとなり、皆様忙しい毎日を過ごされていることと思います。今回は引き続き「糖尿病」についてお話したいと思います。

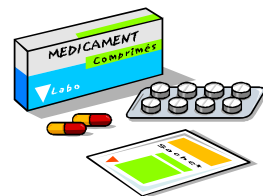


●はじめに

血糖の高い状態が続くと、昏睡や感染症、腎症、網膜症、神経障害などのあらゆる症状(合併症)があらわれ、日常生活に支障をきたします。

糖尿病の治療は、良好な血糖コントロールを行うことで合併症の発症や進行を防ぎ、健康な人と変わらない日常生活をおくれるようにすることが目的です。

治療には、**食事療法**、**運動療法**、**薬物療法**の3つがあります。食事療法や運動療法を中心として行い、それだけではうまく血糖コントロールができない場合は並行して薬物療法を行います。



●治療の目標

血糖の主な指標としてHbA_{1c}値を用います。HbA_{1c}値とは、血液中のヘモグロビンというタンパク質がブドウ糖と結合したグリコヘモグロビンを測定したもので、過去1～2ヶ月間の血糖の状態が分かります。糖尿病の治療では、この値が下の表の「優または良」になることを目指します。

指標	優	良	可		不可
			不十分	不良	
HbA _{1c} 値(%)	5.8 未満	5.8～6.5 未満	6.5～7.0 未満	7.0～8.0 未満	8.0 以上
空腹時血糖値 (mg/dL)	80～110 未満	110～130 未満	130～160 未満		160 以上
食後2時間 血糖値(mg/dL)	80～140 未満	140～180 未満	180～220 未満		220 以上

●糖尿病の薬

糖尿病の薬には、内服薬と注射剤(インスリン)とがあります。

【内服薬】

○スルフォニル尿素剤(SU 剤)

＜商品名＞アマリール、グリミクロン、オイグルコン、ダオニール、グルデアーゼなど
＜作用＞主としてすい臓に作用してインスリンの分泌を促します。

○速効型食後血糖降下剤

＜商品名＞スターシス、ファスティック、グルファスト
＜作用＞SU 剤と同じ仕組みですが、短時間でインスリンの分泌を促進します。

○ビグアナイド剤(BG 剤)

＜商品名＞グリコラン、メルビン、メデット、ジベトス B、ジベトン S
＜作用＞筋肉や肝臓などでのインスリンの働きをよくなり、糖代謝(糖の利用)を促進して血糖を下げます。

○α-グルコシダーゼ阻害剤

＜商品名＞グルコバイ、ベイスン、セイブル
＜作用＞小腸での糖の吸収を遅らせることで、食後の急激な血糖の上昇を抑えます。

○インスリン抵抗性改善剤

＜商品名＞アクトス
＜作用＞細胞でのインスリンの働きを高めて血糖を下げます。

【注射剤(インスリン)】

足りないインスリンを注射によって補い、血糖管理を行います。

速効型、中間型、持続型、混合製剤などの種類があります。



くすりを効果的につかうために

- ・ かかりつけのお医者さんの指示に従い規則正しく使いましょう
- ・ 食事療法と運動療法は必ず続けましょう
- ・ 体重や血糖値などの自己管理を行いましょう
- ・ 規則正しい生活を心掛けましょう

＜参考＞糖尿病患者教室 ―知っておきたい薬の知識―
糖尿病治療ガイド 2006-2007